

孫文 華僑 神戸

安井三吉 著

近代中国の革命家・孫文が神戸の地で「大アジア主義」の講演を行ってから 100 年、そして陳舜臣の生誕から 100 年。

二つの記念日をきっかけに、神戸と中国、日本と中国の関わりを改めて考える。

内 容

序章 誰も気づかなかった孫文最初の来神—1895 年 11 月

第一章 孫文を迎えた人々

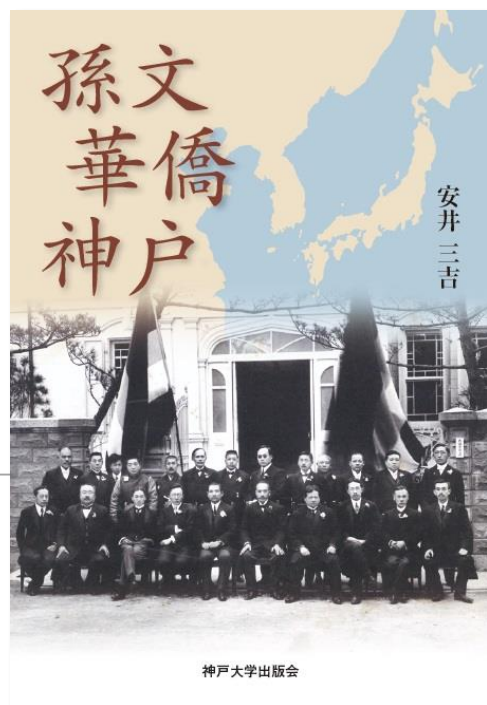
- 1 “中山の大業は必ず成就すべし、一三上豊夷
- 2 二人の楊寿彭
- 3 呉錦堂・王敬祥・楊寿彭

第二章 孫文を語りついできた人々

- 1 舞子の「天下為公」碑—元山清と池田豊
- 2 神戸華僑歴史博物館と孫文記念館の創設—陳徳仁
- 3 平和と友好を願う—林同春
- 4 神戸華僑華人研究会—山口一郎と長谷川善計

第三章 「大同の夢」を求めて—陳舜臣の孫文像

孫文という大きな存在／二つの画期・四つの契機／民族主義者から世界主義希求者へ—孫文像の変化／「慟哭の世紀」



A5判並製 192ページ

定価 2,310円(税込)

2024 年9月発売

発行: 神戸大学出版会 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 TEL078-803-7315 FAX078-803-7320

発売: 神戸新聞総合出版センター 神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F TEL078-362-7138 FAX078-361-7552